

V. 「鳳バス」の運行についての村民アンケート調査

1. 調査の概要

1) 調査の目的

読谷村民の移動実態や鳳バスの必要性に対する考え方、バスの運行に関する意見・要望などを把握し、課題の抽出及び改善策の検討を行うための基礎データを収集することを目的とする。

2) 実施期間

・平成26年12月5日～12月19日（15日間）

3) 調査対象

・中学生以上の読谷村民 1,000人（無作為抽出）

4) 調査方法

・郵送による配布・回収

2. 回収率

・郵送により、配布及び回収を行った。回収数は234件で、回収率は23.4%であった。

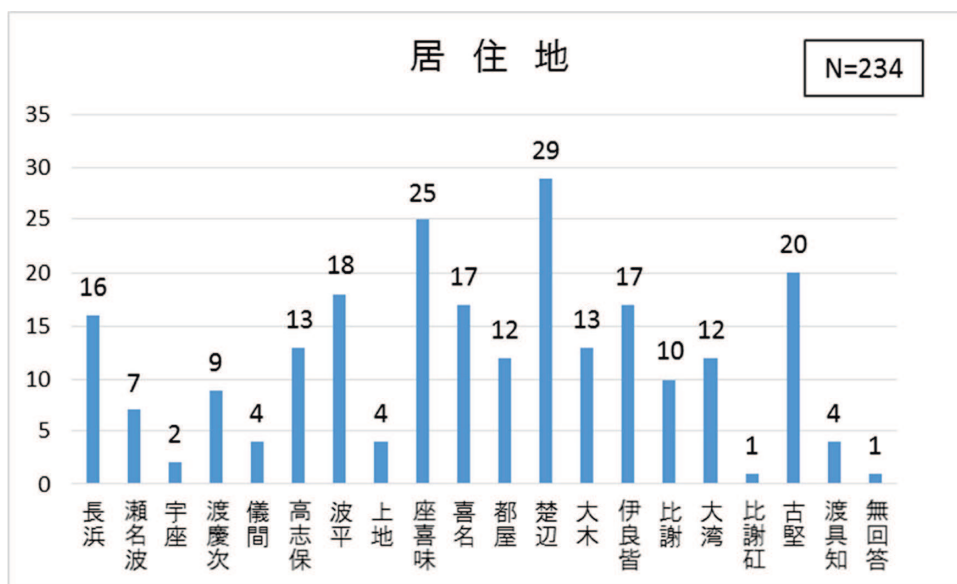
配布数	1,000件
回収数	234件
回収率	23.4%

3. 集計結果

1) 属性

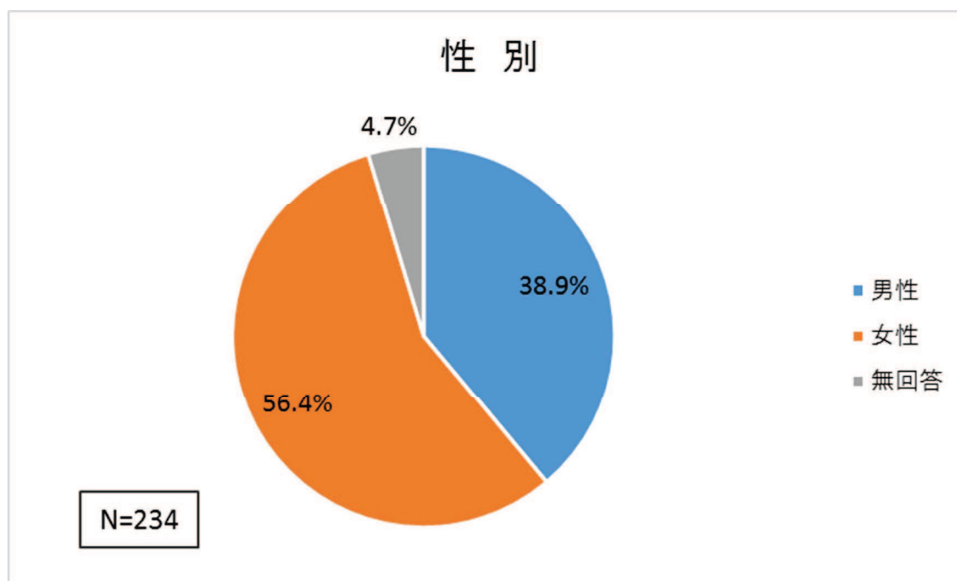
①居住地

- 「楚辺」が最も多く 29 件（構成比 12.4%）、次いで「座喜味」が 25 件（同比 10.7%）となった。
- 全ての地域から回収ができた。



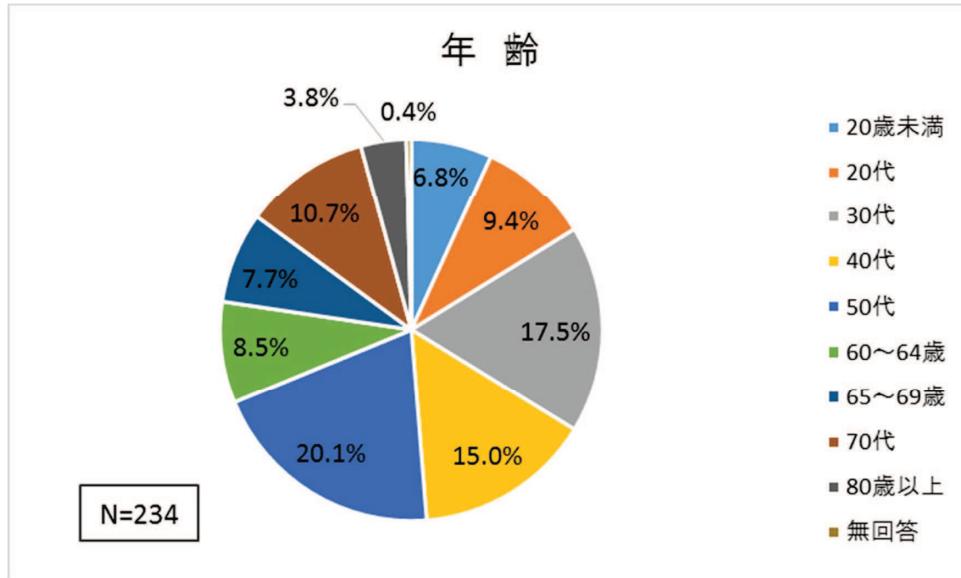
②性別

- 「男性」が 38.9%、「女性」が 56.4%となり、「女性」が「男性」を大きく上回った。



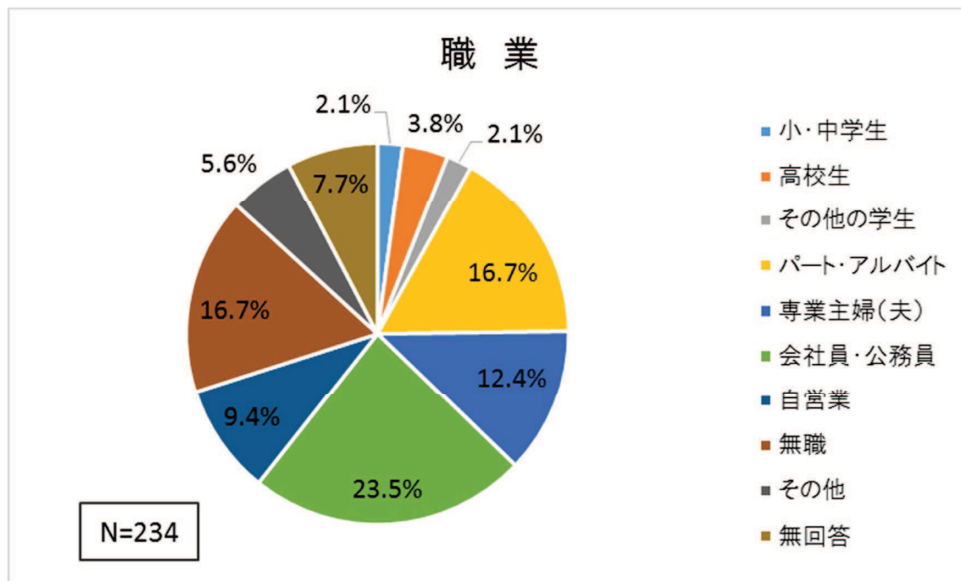
③年齢

- ・「50代」が最も多い20.1%、次いで「30代」が17.5%、「40代」が15.0%となった。
- ・鳳バスの利用者が特に多いと思われる交通弱者に相当する「20歳未満」は6.8%、「65～69歳」は7.7%、「70代」は10.7%で、「80代以上」は3.8%となった。
- ・比較的幅広い年代の方から回答を得ることができた。



④職業

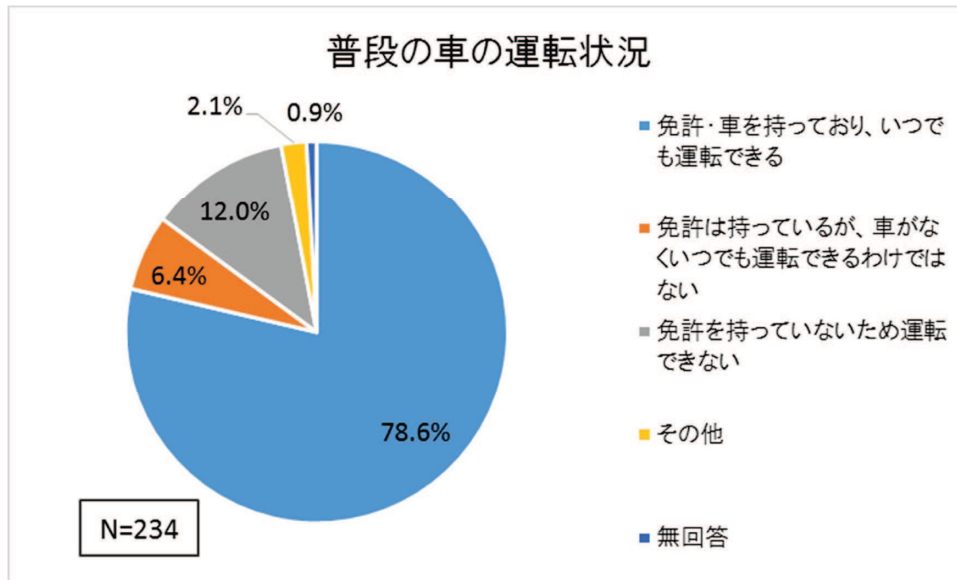
- ・「会社員・公務員」が最も多く23.5%、次いで「パート・アルバイト」と「無職」が同数で16.7%、「専業主婦（夫）」が12.4%となった。



2) 日常的な移動手段について

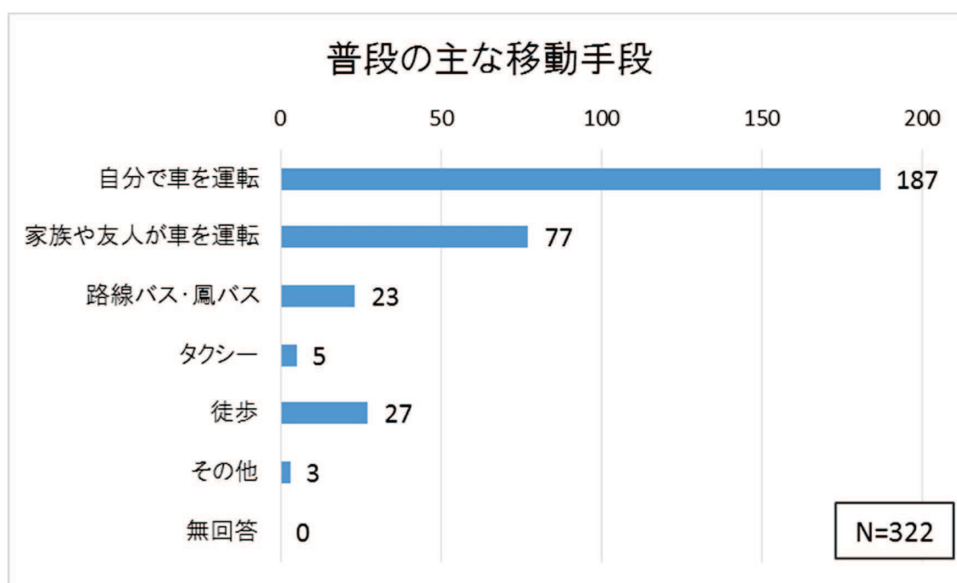
① 普段の車の運転状況

- 「免許・車を持っており、いつでも運転できる」方が 78.6%（回答数 184 件）となり、約 8 割を占めた。
- 「免許を持っていないため運転できない」方は 12.0%（28 件）であった。



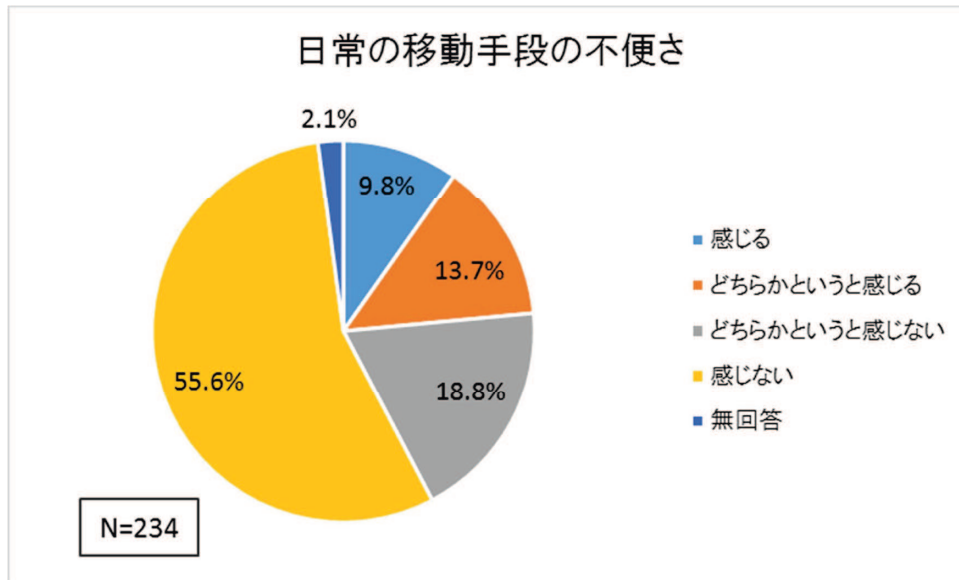
② 普段の主な移動手段〔複数選択〕

- 「自分で車を運転」が 187 件と最も多く、次いで「家族や友人が車を運転」が 77 件となった。
- 「その他」では、「バイク」が 2 件、「自転車」が 1 件であった。



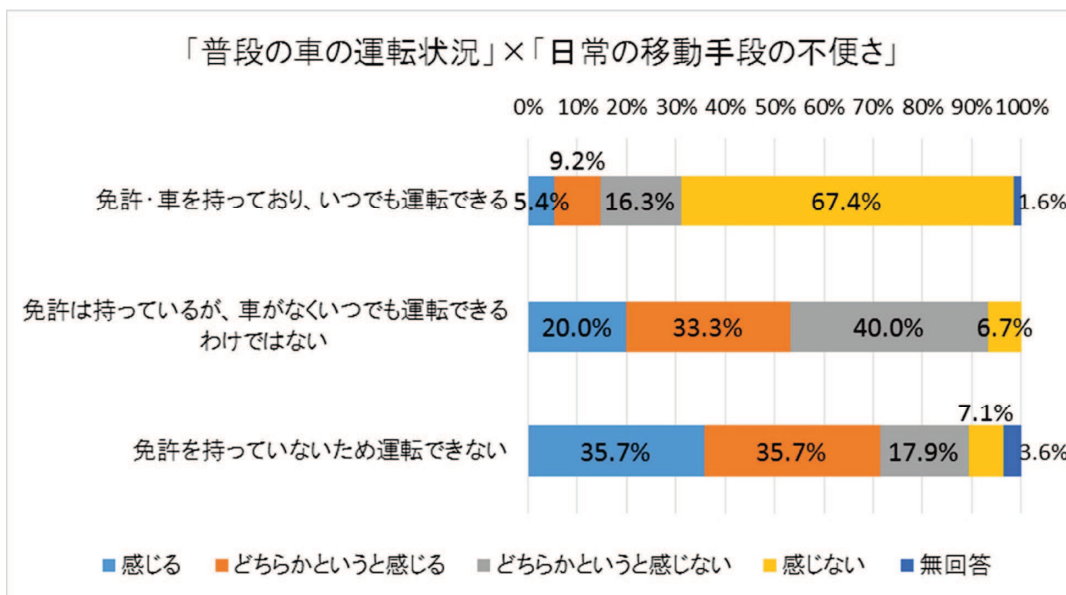
③日常の移動手段の不便さ

- 不便を「感じない」方が 55.6%（回答数 130 件）と最も多く、次いで「どちらかというと感じない」方が 18.8%（44 件）となっており、移動手段に不便を感じていない方が 4分の3 を占めた。
- 「感じる」と「どちらかというと感じる」を合計すると、2 割強が不便さを感じていた。



«クロス» 「普段の車の運転状況」×「日常の移動手段の不便さ」

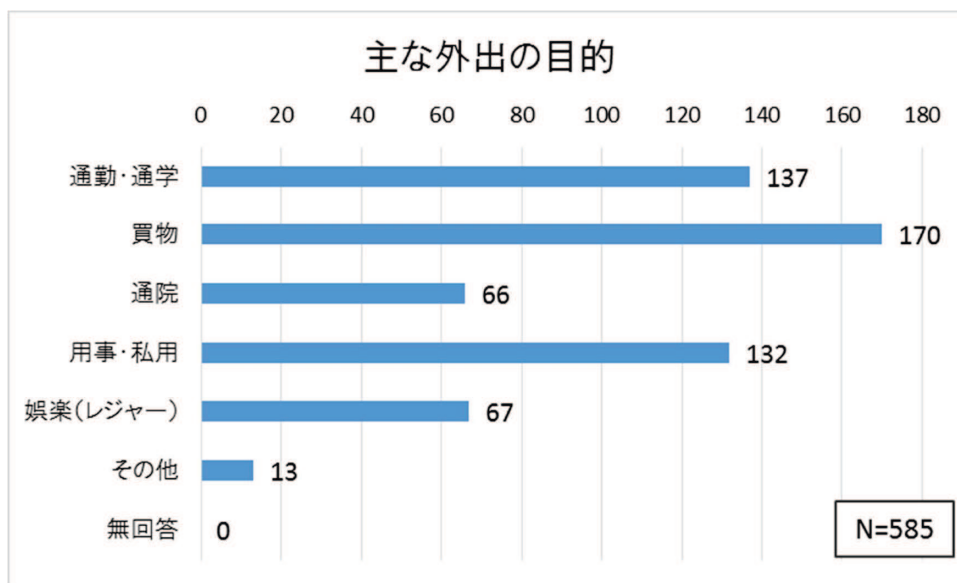
- 普段「いつでも運転できる」方では、不便を「感じる」または「どちらかというと感じる」方が少ない。「いつでも運転できる」方が回答者の約 8 割を占めているため、全体の結果も「感じない」方が多くなったと言える。
- 一方、「いつでも運転できるわけではない」方の約半数、「免許を持っていないため運転できない」方の 7 割強が不便を「感じる」または「どちらかというと感じる」としている。



3) 日常的な外出について

①主な外出の目的〔複数選択〕

- 「買物」170件と最も多く、次いで「通勤・通学」が137件、「用事・私用」が132件となった。
- 「その他」では、「子供や孫の送迎」や「サークル活動」などが挙げられた。

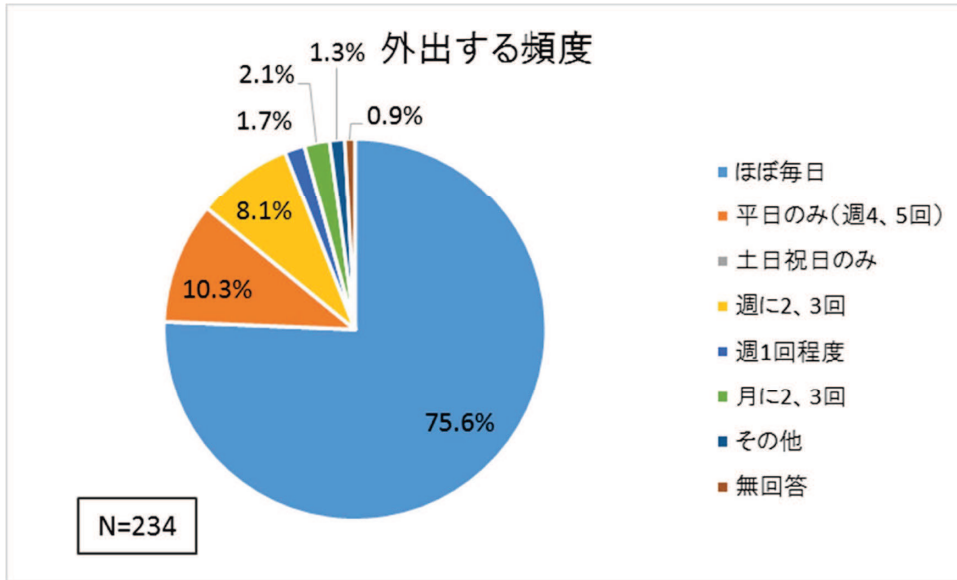


《記述内容》主な外出の目的 『その他』

子供の登校の送迎(悪天候時)	
中学に通う孫の送迎	
子供の送迎	
家族の介護	
文化センターでのサークル活動	
ボランティアの会やサークル活動など	
ボランティア	
畑に行く	
ウォーキング	
那覇空港へ行くため	
選択項目全て	3件

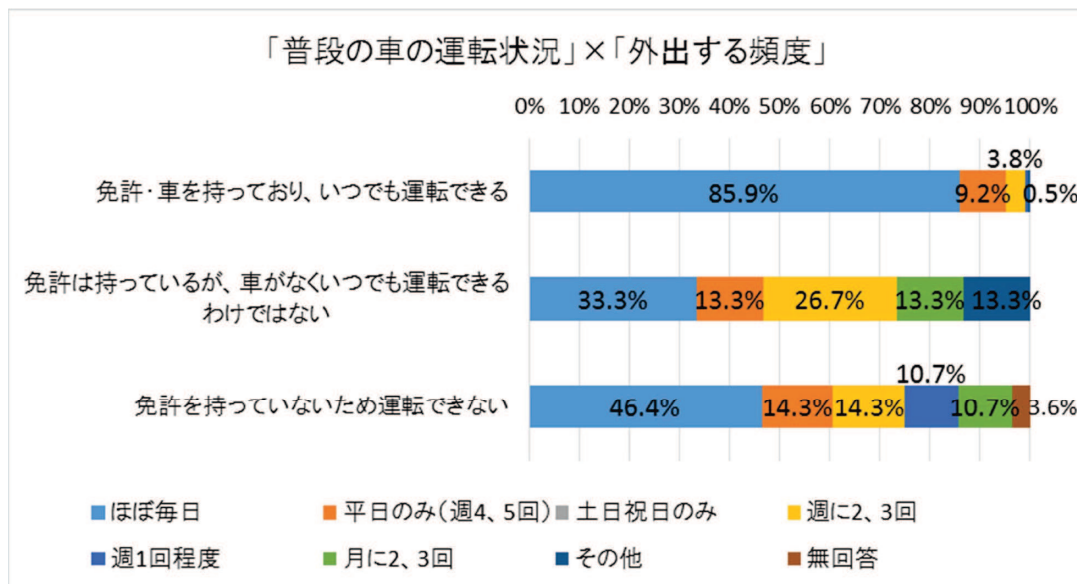
②外出する頻度

- ・「ほぼ毎日」が75.6%で最も多く、次いで「平日のみ（週4、5回）」が10.3%と続いた。
- ・今回の回答者は、比較的日常的に外出する頻度が高い方が多いと言える。



«クロス» 「普段の車の運転状況」×「外出する頻度」

- ・「いつでも運転できるわけではない」方や「免許を持っていないため運転できない」方の外出頻度は「週に2、3回」や「月に2、3回」が多く、「ほぼ毎日」とする回答者が多かった。「いつでも運転できる」方に比べると、外出頻度が低くなった。



4) よく出かける場所とバスで行けると便利だと思う場所〔複数選択〕

- ・「よく出かける場所」では、上位 10 か所中、7 か所が村内の商業施設であった。
- ・「よく出かける場所」の上位には商業施設や銀行が多く、それに続いて公共施設や病院などが挙げられた。
- ・「バスで行けると便利だと思う場所」では、上位 10 か所中、公共施設と学校がそれぞれ 3 か所、商業施設が 2 か所となった。村内の中学校と高等学校の全 3 校が、「バスで行けると便利だと思う場所」の上位 10 か所に入っていた。
- ・「よく出かける場所」と「バスで行けると便利だと思う場所」を比較すると、「よく出かける場所」で上位だった商業施設の一部が「バスで行けると便利だと思う場所」では下位となり、代わりに公共施設や病院が上位となった。食品スーパーについては、日常的によく出かけるものの、自宅周辺の店舗を利用することが多いこともあり、バスでの利用要望が少なくなったと考えられる。

順位	よく出かける場所	回答数	バスで行けると便利だと思う場所	回答数
1	イオンタウン読谷ショッピングセンター	116	イオンタウン読谷ショッピングセンター	76
2	JAゆんた市場	87	読谷村役場	75
3	読谷村役場	82	JAゆんた市場	67
4	マックスバリュ 都屋店	70	読谷高校	62
5	琉球銀行 読谷支店	60	読谷中学校	58
6	タウンプラザかねひで 読谷店	58	図書館	48
7	丸大 読谷波平店	56	読谷村診療所	48
8	買物や用事などで近隣市町村	55	琉球銀行 読谷支店	44
9	サンエー V21そべ食品館	52	古堅中学校	44
10	丸大 読谷伊良皆店	44	健康増進センター	40
11	読谷郵便局	43	沖縄銀行 読谷支店	40
12	沖縄銀行 読谷支店	43	老人福祉センター セーラー苑	38
13	沖縄海邦銀行 読谷支店	40	総合運動広場	36
14	伊良皆郵便局	35	まつしまクリニック	36
15	図書館	34	マックスバリュ 都屋店	36
16	サンマート 喜名店	29	読谷郵便局	35
17	通勤・通学で近隣市町村	27	平和の森球場	34
18	文化センター	23	サンエー V21そべ食品館	34
19	喜名郵便局	23	買物や用事などで近隣市町村	34
20	玉城ファミリークリニック	21	よみたん眼科	32
21	農協 読谷支店	21	伊良皆郵便局	32
22	老人福祉センター セーラー苑	19	よみたん皮膚科	31
23	読谷高校	19	そけん小児科	30
24	総合運動広場	18	よみたんクリニック	30
25	読谷中学校	18	タウンプラザかねひで 読谷店	30
26	健康増進センター	16	生き活き健康センター	29
27	まつしまクリニック	15	ライフケアクリニック長浜	29
28	読谷村診療所	14	玉城ファミリークリニック	29
29	かなさん内科クリニック	13	かなさん内科クリニック	29
30	古堅中学校	13	丸大 読谷波平店	29
31	平和の森球場	11	文化センター	28
32	総合福祉センター	10	総合福祉センター	28
33	ライフケアクリニック長浜	10	子育て支援センター	27
34	農協 比謝出張所	10	丸大 読谷伊良皆店	27
35	なかそね内科	9	サンマート 喜名店	27
36	美術館	8	歴史民俗資料館	26
37	ふれあい交流館	8	老人デイケア施設	26
38	よみたん皮膚科	8	沖縄海邦銀行 読谷支店	26
39	そけん小児科	7	美術館	25
40	よみたん眼科	6	喜名郵便局	24
41	農協 楚辺出張所	6	農協 読谷支店	24
42	歴史民俗資料館	5	なかそね内科	23
43	子育て支援センター	4	古堅南クリニック	23
44	古堅南クリニック	4	美ら浜皮膚科クリニック	23
45	よみたんクリニック	4	勤労者体育センター	22
46	美ら浜皮膚科クリニック	4	ふれあい交流館	19
47	勤労者体育センター	3	農協 比謝出張所	17
48	生き活き健康センター	1	農協 楚辺出張所	15
49	老人デイケア施設	1	通勤・通学で近隣市町村	12
	計	1,283	計	1,657

<<記述内容>>病院等『その他』 <input type="checkbox"/> 中部病院(沖縄市) <input type="checkbox"/> 珀美歯科(読谷村字古堅)	<<記述内容>>スーパー等『その他』 <input type="checkbox"/> ローソン <input type="checkbox"/> 各スーパー
---	---

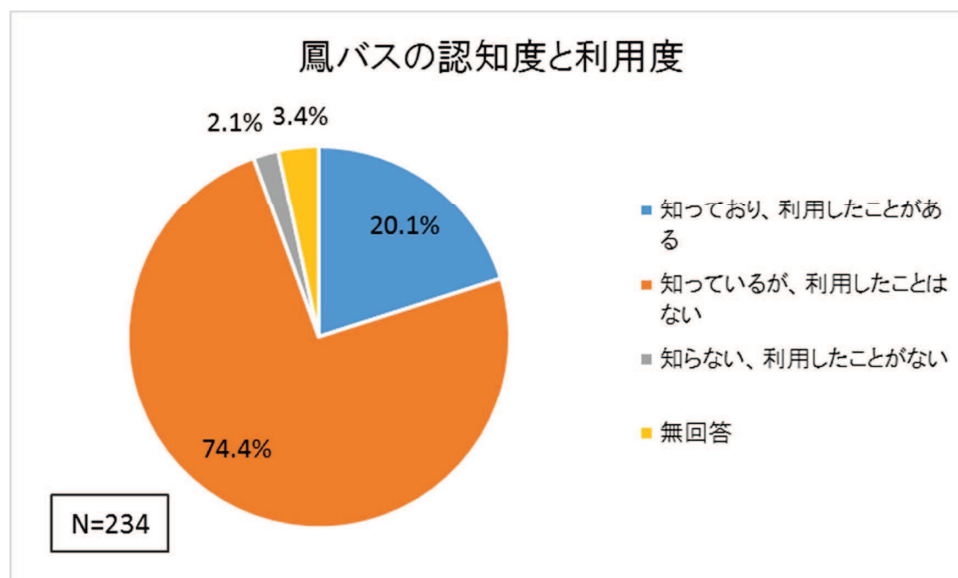
<<記述内容>>通勤・通学で周辺市町村		<<記述内容>>買物や用事などで周辺市町村	
沖縄市	10	北谷町	40
嘉手納町	8	嘉手納町	32
うるま市	5	沖縄市	24
北谷町	5	うるま市	18
宜野湾市	2	宜野湾市	8
那覇市	2	那覇市	5
西原町	1	恩納村	3
南風原町	1	浦添市	1
計	34	名護市	1
		計	132

<<記述内容>>その他 <input type="checkbox"/> 各小学校・幼稚園 <input type="checkbox"/> 保育園 <input type="checkbox"/> 村内ホテル <input type="checkbox"/> 各リゾートホテル、バスターミナル <input type="checkbox"/> 残波ゴルフ場、その他 <input type="checkbox"/> 嘉手納町役場、嘉手納署、名嘉病院 <input type="checkbox"/> 北谷町 <input type="checkbox"/> 北谷町美浜ハンビータウン・ジャスコ北谷店、うるま市ジャスコ具志川店 <input type="checkbox"/> 那覇空港
--

5) 鳳バスの認知度・利用度・必要性について

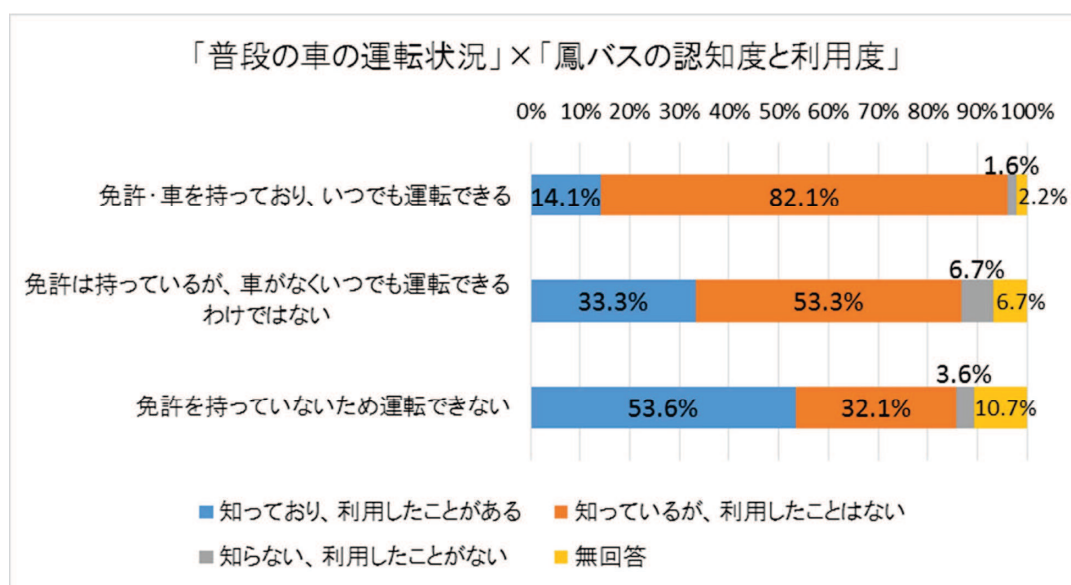
① 鳳バスの認知度と利用度

- ・「知っているが、利用したことはない」方が74.4%と最も多かった。
- ・鳳バスを「知っており、利用したことがある」(構成比 20.1%) 方と「知っているが、利用したことはない」方を合わせる94.4%となり、認知度は非常に高いと考えられる。
- ・利用度については、「知っているが、利用したことはない」方と「知らない、利用したことがない」(同比 2.1%) 方を合わせると76.4%となることから、あまり利用されていないと考えられる。



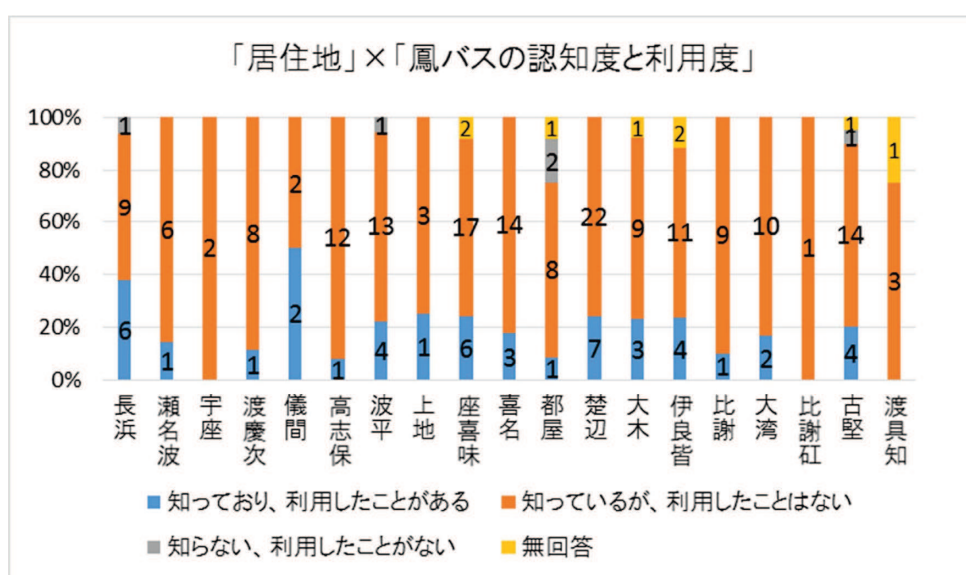
「クロス」 「普段の車の運転状況」×「鳳バスの認知度と利用度」

- 運転する、しないに関わらず、鳳バスの認知度は8割以上と非常に高くなった。
- 利用度は運転状況に対応しており、「いつでも運転できる」、「いつでも運転できるわけではない」、「免許を持っていないため運転できない」の順で、後者ほど「利用したことがある」方の割合が高かった。「免許を持っていないため運転できない」方では、半数以上が「利用したことがある」と回答した。



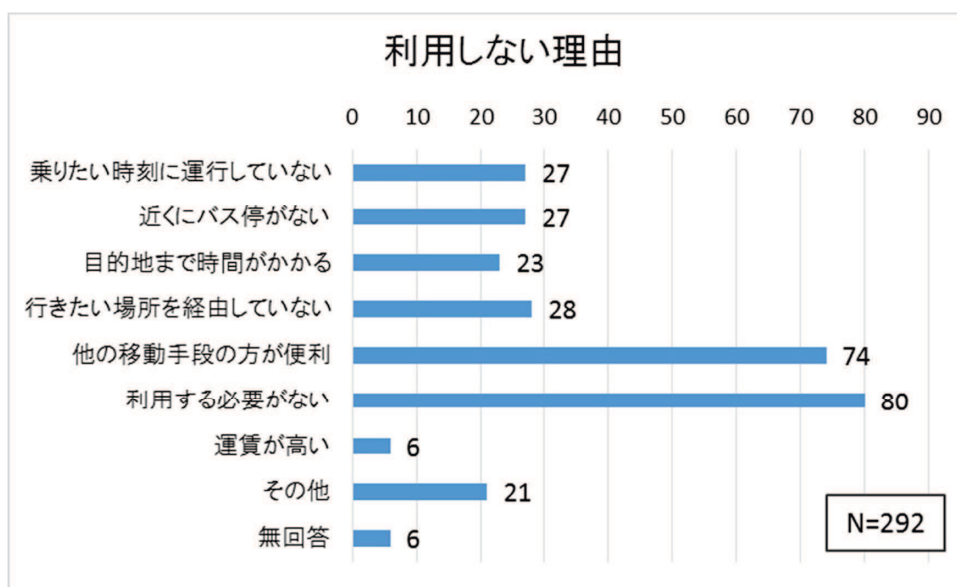
「クロス」 「居住地」×「鳳バスの認知度と利用度」

- 回答が10以上ある地区の中では、「長浜」が鳳バスを「利用したことがある」方が比較的多い割合を示した。その他の地区では目立った傾向はみられなかった。



②利用しない理由〔「知っているが、利用したことはない」回答者のみ、複数選択〕

- 「利用する必要がない」が80件と最も多く、次いで「他の移動手段の方が便利」が74件となっており、日常的に自家用車を利用している方など、他の交通手段を便利に利用できる方を公共交通利用へ転換させることは難しいと考えられる。
- その他、「行きたい場所を経由していない」、「乗りたい時刻に運行していない」、「近くにバス停がない」との回答について、鳳バスの運行サービスがニーズに即していないと考えることができる。

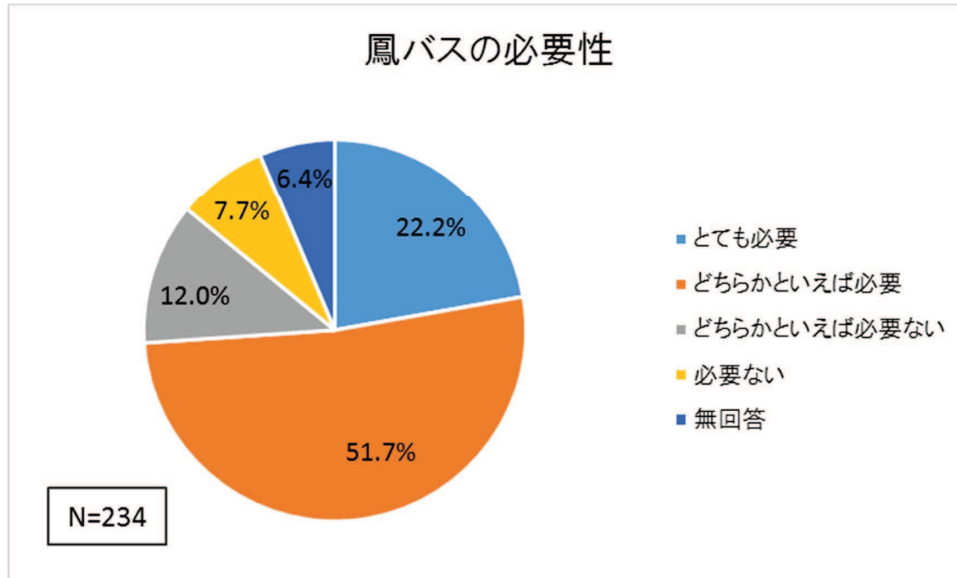


《記述内容》利用しない理由『その他』

自家用車を利用しているから	14
ルートや時刻などがわからないから	5
毎度空車である	1
計	20

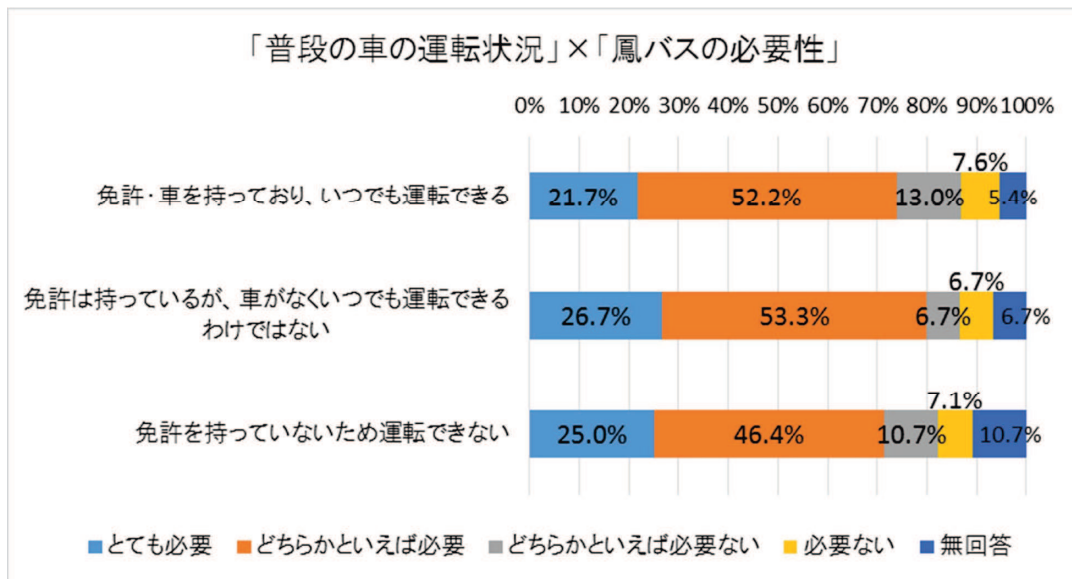
③鳳バスの必要性

- 「どちらかといえば必要」が 51.7%と最も多く、次いで「とても必要」が 22.2%となった。合わせると 73.9%となり、鳳バスの必要性が広く村民に認識されていると考えられる。
- 一方、「どちらかといえば必要ない」が 12.0%、「必要ない」が 7.7%、合すると 19.7%となった。



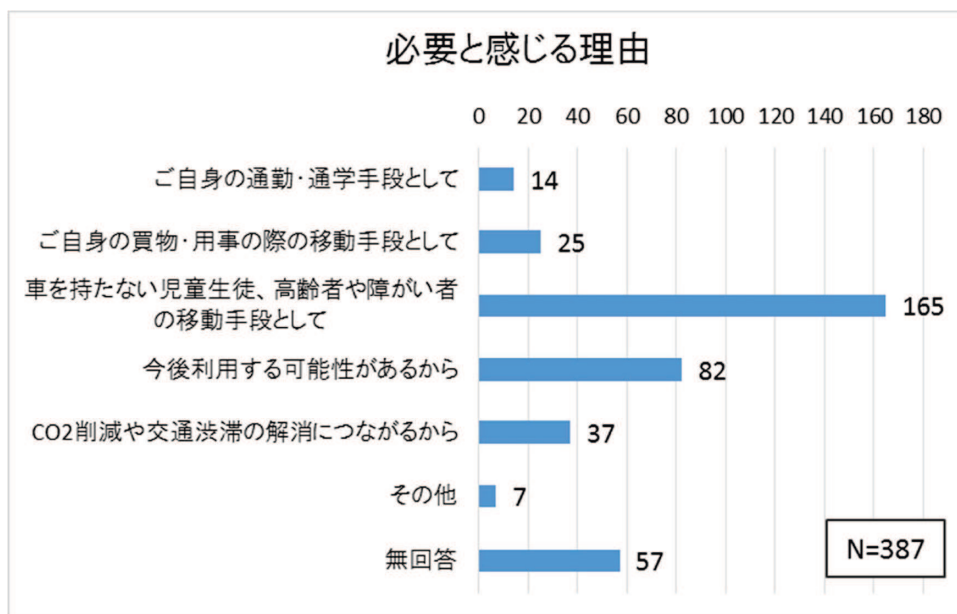
«クロス» 「普段の車の運転状況」×「鳳バスの必要性」

- 運転できる、できないに関わらず、鳳バスが必要と感じている方が7割以上となり、日常的に自家用車を利用している村民にも鳳バスの必要性は認識されていると考えられる。



④-1 必要と感じる理由〔複数選択〕

- 「車を持たない児童生徒、高齢者や障がい者の移動手段として」が 165 件と最も多く、次いで、「今後利用する可能性があるから」が 82 件となった。
- 交通弱者に対する移動手段を確保するため、鳳バスの運行を継続していく必要性があると認識されていると考えられる。

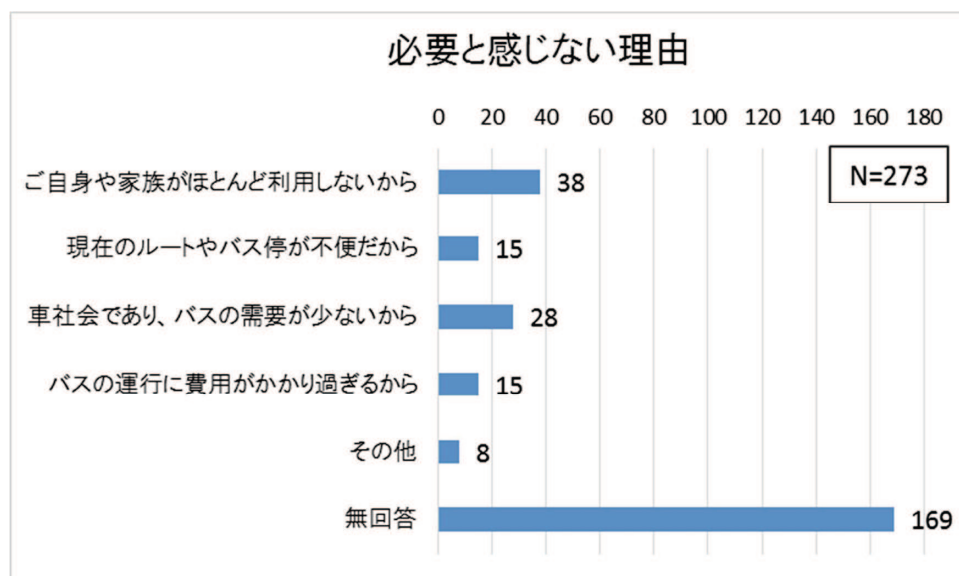


《記述内容》必要と感じる理由 『その他』

○けがなどで急に車が使えなくなったりした時
○弟が利用しているから。
○時間帯が合えば利用したい。
○公共施設にバス路線は必要
○どこを通るのか知りたい。
○利用していないのでわからない。
○那覇空港へ行くため

④-2 必要と感じない理由〔複数選択〕

- ・「無回答」を除くと、「ご自身や家族がほとんど利用しないから」が38件と最も多かった。
- ・次いで「車社会であり、バスの需要が少ないから」が28件となっており、利用しない村民へ向けた鳳バスの必要性の啓発活動や車社会からの脱却への意識醸成が必要であると考えられる。



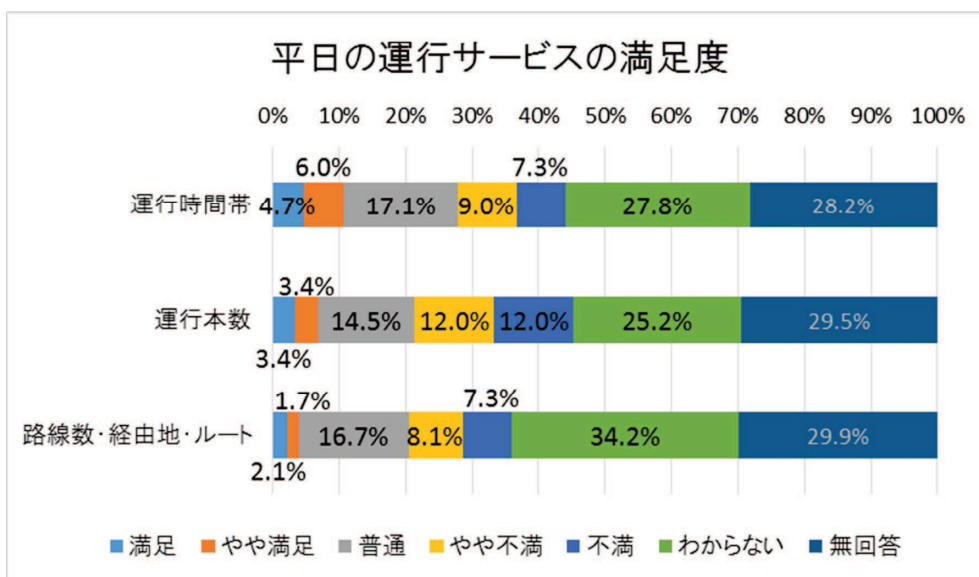
《記述内容》必要と感じない理由 『その他』

<input type="checkbox"/> 全てにおいて不十分。村民が求めるサービスができていないならなくてもいい。
<input type="checkbox"/> 買物をしていて荷物を持っているため、バスは不便だと思う
<input type="checkbox"/> 通学時間帯に運行していないから。便が少ないから。
<input type="checkbox"/> 赤字というのは、利用者が少ないのではないか。乗っている人を見たことがない。
<input type="checkbox"/> 乗っている人をあまり見たことがないから。
<input type="checkbox"/> 空車が多い。
<input type="checkbox"/> 一日一台当たり18人しか利用していないから。
<input type="checkbox"/> 利用していないのでわからない。

6) 鳳バスの満足度

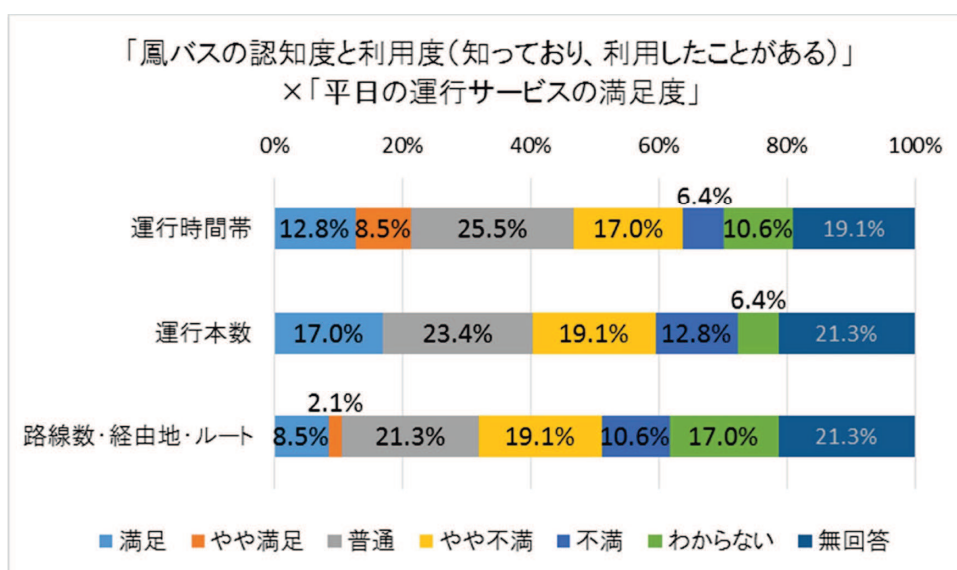
①平日の運行サービスの満足度

- ・利用していない方の回答が多く、半数以上が「わからない」や「無回答」であった。
- ・3項目とも「満足」と「やや満足」を合わせた満足側よりも「やや不満」と「不満」を合わせた不満側が優勢となった。
- ・特に不満側の割合が高かったのは「運行本数」である。一方、「路線数・経由地・ルート」については、他よりも満足側の割合が低くなった。



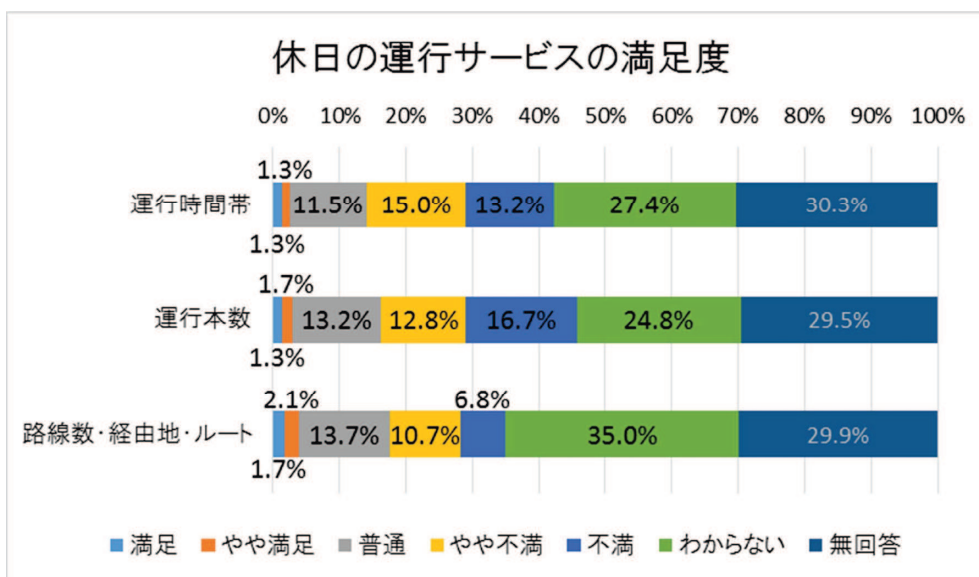
«クロス» 「鳳バスの認知度と利用度(知っており、利用したことがある)」×「平日の運行サービスの満足度」

- ・全体と比べ、「わからない」や「無回答」の回答数が減ったが、傾向としては、どの項目も類似していた。



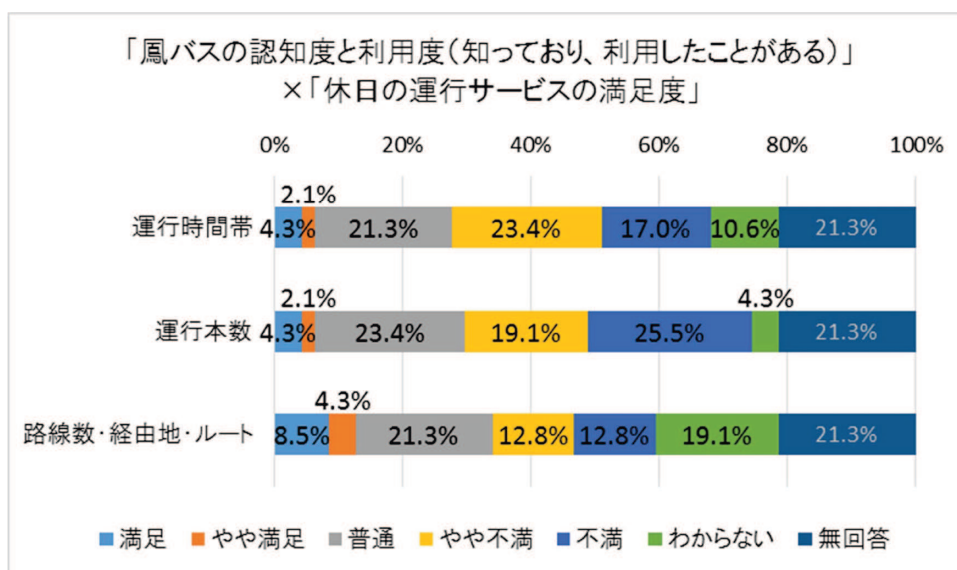
②休日の運行サービスの満足度

- ・休日についても、半数以上が「わからない」や「無回答」であった。
- ・平日と同様に、3項目とも「満足」と「やや満足」を合わせた満足側よりも「やや不満」と「不満」を合わせた不満側が優勢となった。
- ・平日と比較すると、不満側の割合が高くなった。
- ・「路線数・経由地・ルート」は平日に近い数値であったが、「運行時間」と「運行本数」は平日よりも不満側の割合が更に高くなった。



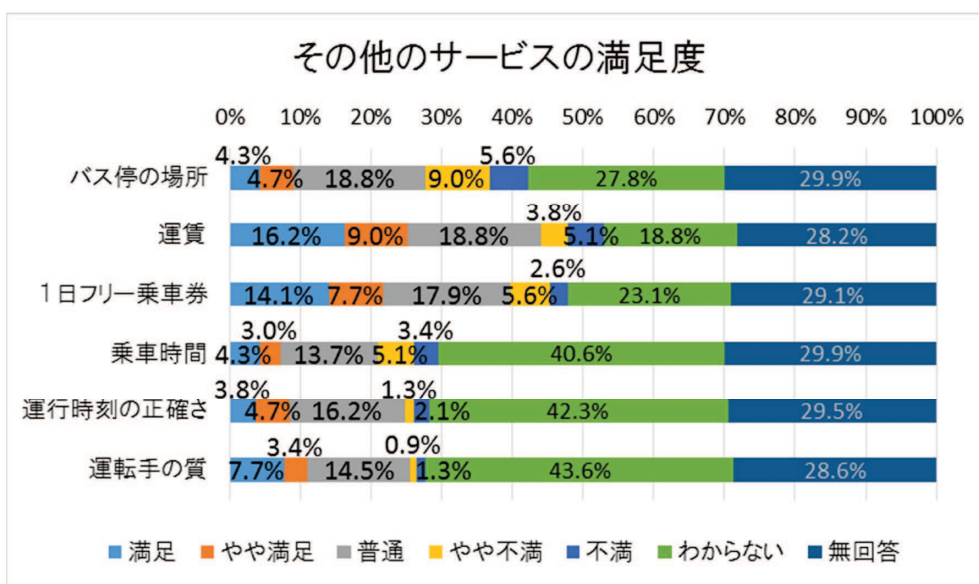
«クロス» 「鳳バスの認知度と利用度(知っており、利用したことがある)」×「休日の運行サービスの満足度」

- ・平日の運行サービスの満足度と同様に、全体と比べ、「わからない」や「無回答」の回答数が減ったが、傾向としてはどの項目も類似していた。
- ・平日よりも経由地が限定されており、1ルートのみでの運行となるにもかかわらず、「路線数・経由地・ルート」は、平日よりも不満側が少なく、満足側が多くなった。



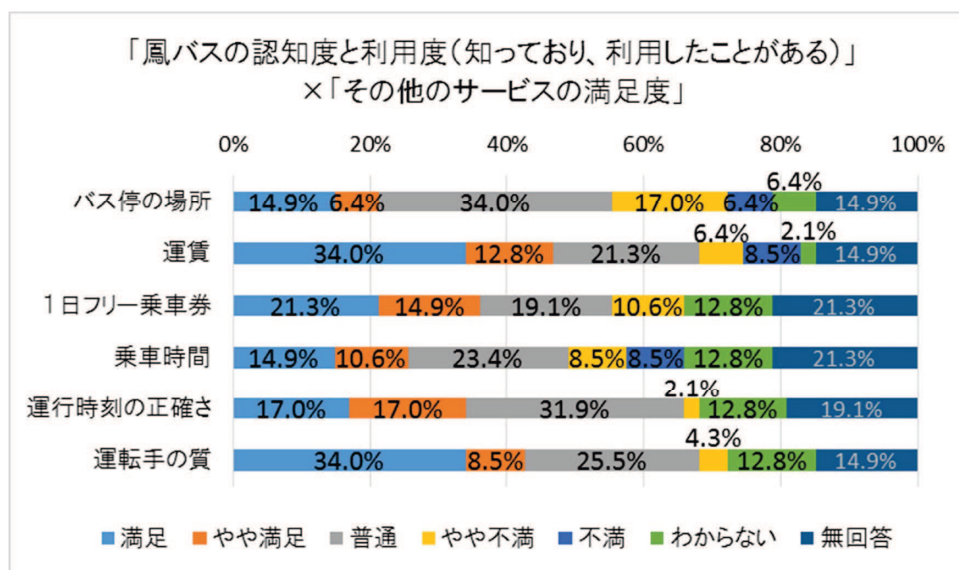
③その他のサービスの満足度

- その他のサービスの満足度では、「乗車時間」、「運行時刻の正確さ」、「運転手の質」の3項目で、「わからない」と「無回答」の合計が7割以上を占めた。
- 「バス停の場所」では、「満足」と「やや満足」を合わせた満足側（構成比9.0%）よりも、「やや不満」と「不満」を合わせた不満側（同比14.6%）が優勢となった。
- 「運賃」や「1日フリー乗車券」では、満足側が大きく優勢となっており、他項目よりも評価が高いと言える。また、「わからない」が他項目よりもやや低くなっており、比較的運賃やフリー乗車券についての認知が浸透していると考えられる。
- 「乗車時間」では若干不満側が優勢、「運行時刻の正確さ」では満足側が優勢となった。
- 「運転手の質」では、満足側が大きく優勢となっており、運転手の質については、問題は少ないと考えられる。



«クロス» 「鳳バスの認知度と利用度(知っており、利用したことがある)」×「その他のサービスの満足度」

- 運行サービスの満足度と同様に、全体と比べ、「わからない」や「無回答」の割合が低くなった。
- 「バス停の場所」、「運賃」、「1日フリー乗車券」については、全体と類似した傾向を示した。特に半数近くが「運賃」に対して「満足」もしくは「やや満足」と回答しており、利用者にとって運賃の満足度は高いと考えられる。
- 「乗車時間」や「運行時刻の正確さ」では、満足側が優勢となっており、特に「運行時刻の正確さ」については、不満側の回答が非常に少なかった。
- 「運転手の質」では、特に全体よりも満足側の回答の割合が高くなった。



④鳳バスの満足度の全体評価

- 満足を5点、不満を1点として段階に点数で評価し、「平日の運行サービス」、「休日の運行サービス」、「その他のサービス」をみると、「その他のサービス」が3.3点と最も高くなった。
- 「平日の運行サービス」の全体評価は2.6点、「休日の運行サービス」の全体評価は2.2点となり、平日の方が高評価となった。「路線数・経由地・ルート」では差がなかったものの、「運行時間帯」は平日2.8点、休日2.1点と差がついた。
- 鳳バスの満足度の全体評価は2.8点となり、全体の満足度は「普通」よりやや低いという結果となった。

	点数
平日の運行サービス	2.6
運行時間帯	(2.8)
運行本数	(2.4)
路線数・経由地・ルート	(2.5)
休日の運行サービス	2.2
運行時間帯	(2.1)
運行本数	(2.1)
路線数・経由地・ルート	(2.5)
その他のサービス	3.3
バス停の場所	(2.8)
運賃	(3.5)
1日フリー乗車券	(3.5)
乗車時間	(3.0)
運行時刻の正確さ	(3.2)
運転手の質	(3.6)
鳳バスの全体評価	2.8

◆点数の算出方法

- * 各回答数の構成比に点数を積算し、その合計を項目の点数とした。構成比は「わからない」や「無回答」は含まない。
- * 「平日の運行サービス」、「休日の運行サービス」、「その他のサービス」の点数は、該当項目の平均点とした。
- * 「鳳バスの全体評価」の点数は、全ての項目の平均点とした。

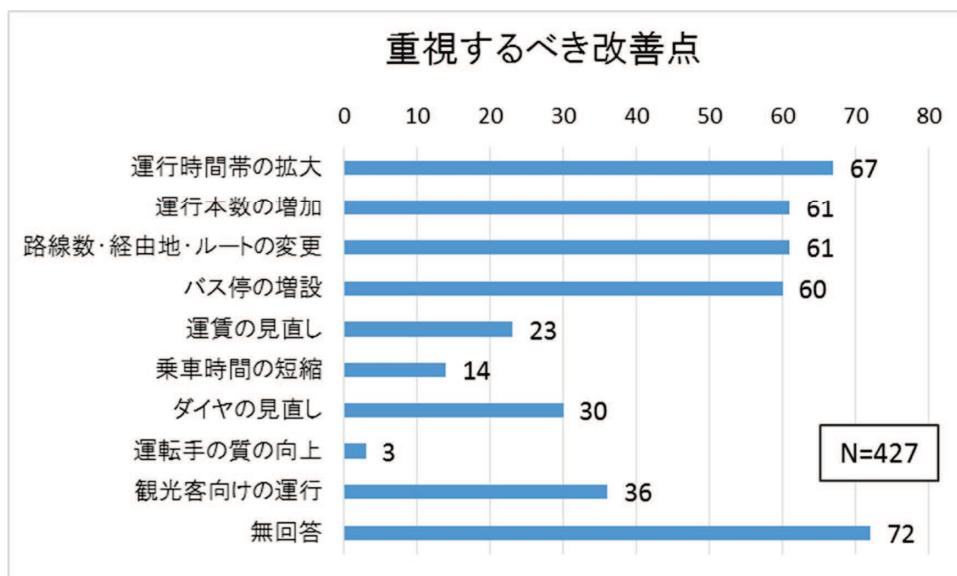
◆点数の設定



7) 鳳バスの改善点

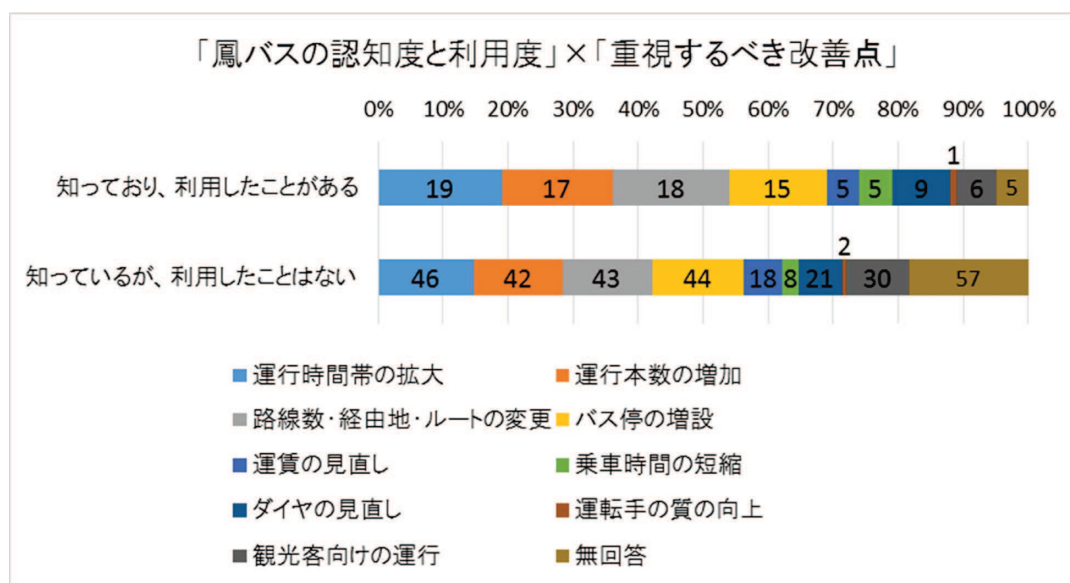
①重視すべき改善点〔複数選択〕

- ・「無回答」を除くと、「運行時間帯の拡大」(67件)が最も多く、次いで「運行本数の増加」、
と「路線数・経由地・ルートの変更」が同数(61件)となった。



«クロス» 「鳳バスの認知度と利用度」×「重視すべき改善点」

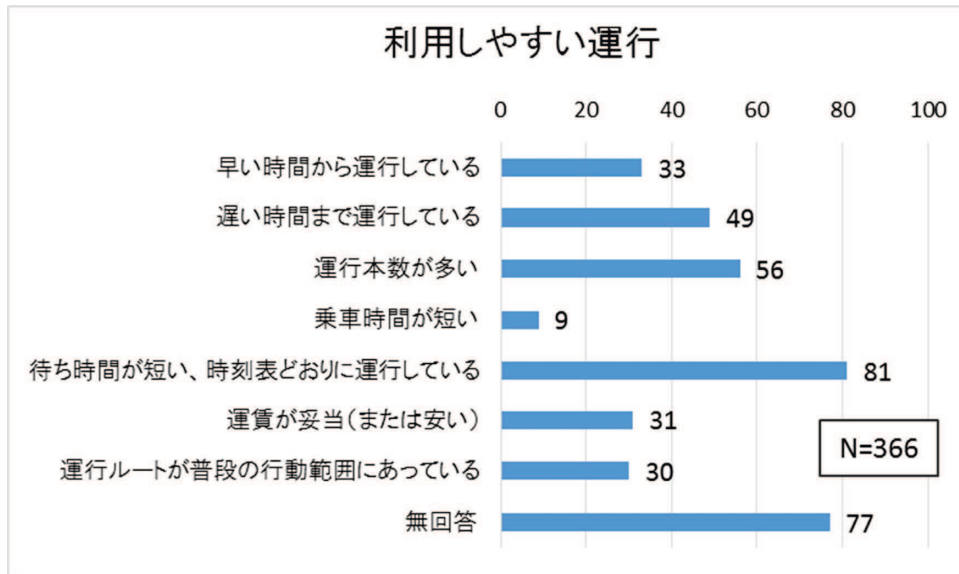
- ・鳳バスを「利用したことがある」方では、「運行時間帯の拡大」、「路線数・経由地・ルートの変更」、「運行本数の増加」、「バス停の増設」の順となり、この4項目が多かった。
- ・「利用したことはない」方でも、同様に4項目が多かったが、次いで「観光客向けの運行」が多かったことが特徴である。



※「知らない、利用したことがない」方については、母数が少ない(5件)ため集計を掲載しない。

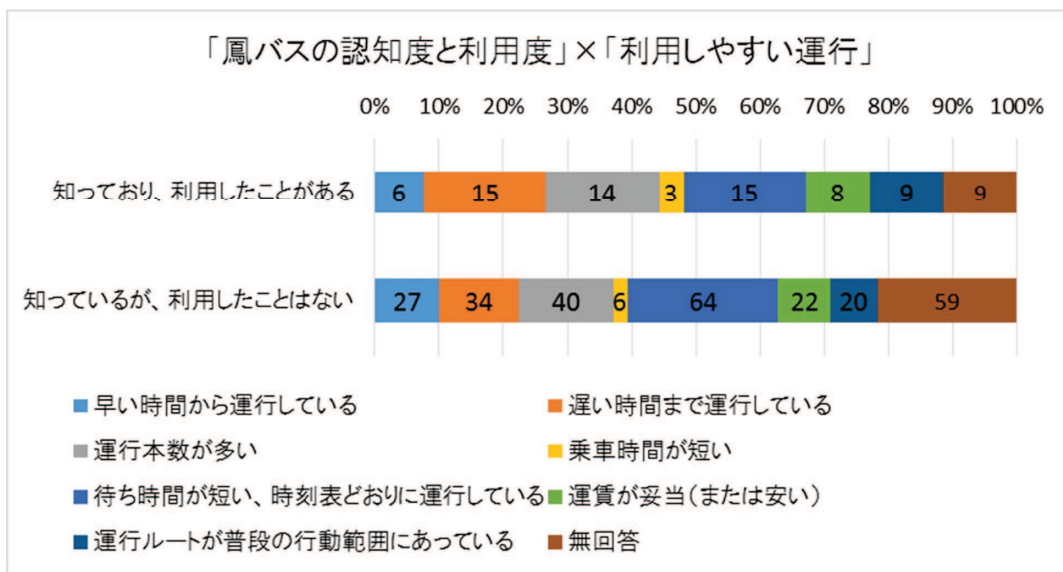
②利用しやすい運行〔複数選択〕

- ・「無回答」を除くと、「待ち時間が短い、時刻表どおりに運行している」（81件）、「運行本数が多い」（56件）、「遅い時間まで運行している」（49件）の順となった。



《クロス》「鳳バスの認知度と利用度」×「利用しやすい運行」

- ・鳳バスを「利用したことがある」方では、「遅い時間まで運行している」と「待ち時間が短い、時刻表どおりに運行している」が同数、次いで「運行本数が多い」の順となった。全体では3番目であった「遅い時間まで運行している」が1番多くなったことが特徴である。
- ・「利用したことはない」方では、「待ち時間が短い、時刻表どおりに運行している」、「運行本数が多い」、「遅い時間まで運行している」の順となった。
- ・「遅い時間まで運行している」は「利用したことがある」方の要望が強く、「早い時間から運行している」は「利用したことはない」方の要望が強くなった。



※「知らない、利用したことがない」方については、母数が少ない(5件)ため集計を掲載しない。

②の詳細

- ・「早い時間から運行している」では、「7時台」とする回答が多かった。
- ・「遅い時間まで運行している」では、「22時台」、「21時台」、「20時台」の順に多くなった。

②-1 早い時間から運行している

5時台	3
6時台	8
7時台	17
計	28

②-2 遅い時間まで運行している

18時台	1
19時台	1
20時台	9
21時台	11
22時台	12
23時台	4
24時台	6
26時台	1
計	45

- ・「運行本数が多い」では、「30分」間隔での運行を望む回答が最も多かった。
- ・「乗車時間が短い」では、まとまった意見はなかった。

②-3 運行本数が多い

10分	2
15分	11
20分	4
30分	28
40分	2
60分	1
10～20分	1
15～20分	1
20～30分	1
30～40分	1
計	52

②-4 乗車時間が短い

10分	2
15分	2
30分	4
10～15分	1
計	9

- ・「運賃が妥当（または安い）」では、現在の半額である「100円」が最も多かった。
- ・「運行ルートが普段の行動範囲にあっている」では、イオンタウンへの路線などが挙げられた。

②-5 運賃が妥当（または安い）

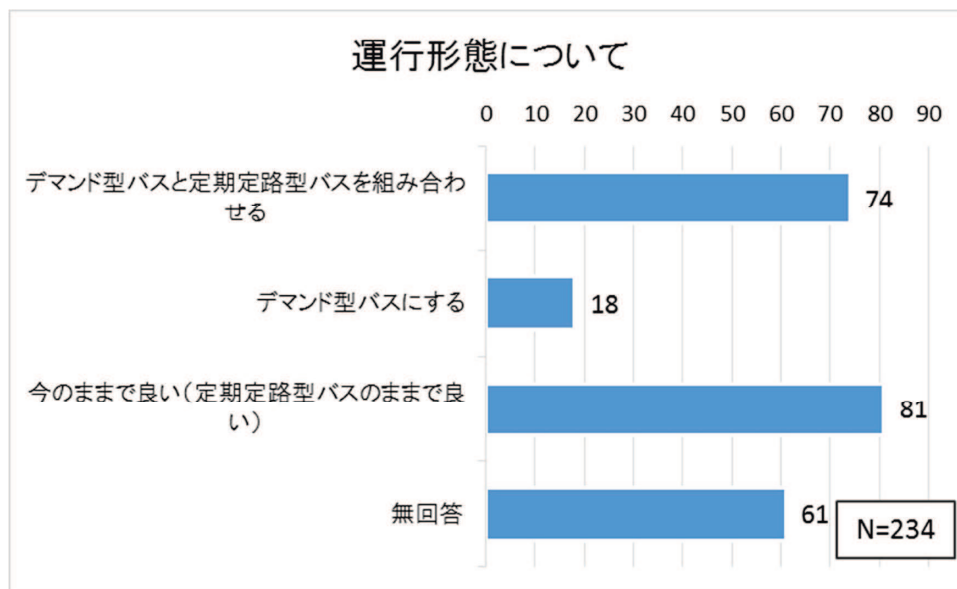
無料	1
90円	1
100円	10
150円	1
180円	1
200円	1
100～200円	1
計	16

②-6 運行ルートが普段の行動範囲にあっている

<input type="radio"/> 波平(6号線)～古堅イオンタウン
<input type="radio"/> 読谷バスターミナル～イオンタウン
<input type="radio"/> 大当～イオンタウン、大当～高志保経由で役場
<input type="radio"/> 渡具知～嘉手納町(ネーブルカテナ)
<input type="radio"/> 読谷高校～喜名
<input type="radio"/> 宇座～役場
<input type="radio"/> 喜名～伊良皆
<input type="radio"/> 高志保入口～残波
<input type="radio"/> 波平～古堅
<input type="radio"/> 喜名～波平
<input type="radio"/> 北～南、南～北
<input type="radio"/> 古堅区内

③運行形態について

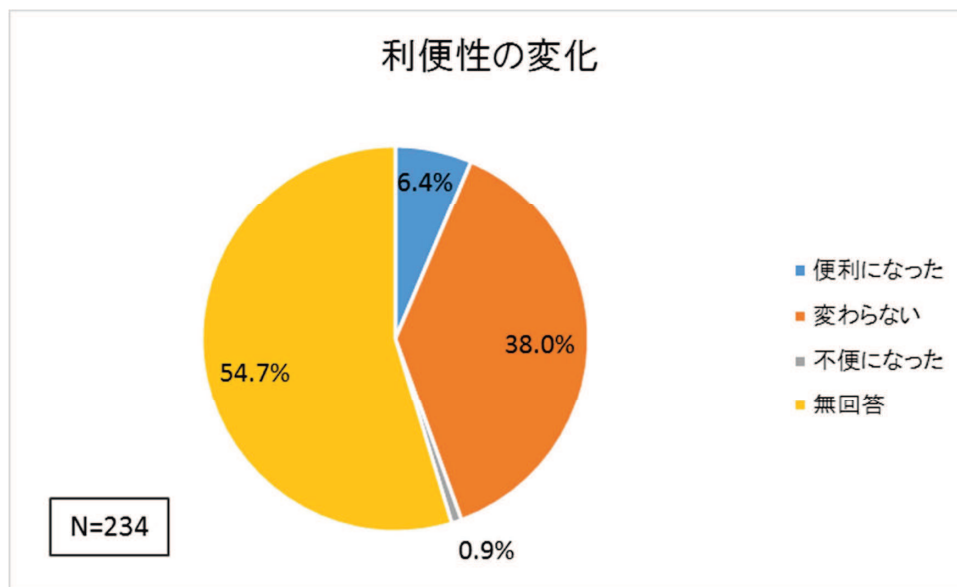
- デマンド型についての意向を確認したところ、「デマンド型バスと定期定路型バスを組み合わせる」(74 件) が最も多く、全体の 3 割を超えた。「デマンド型バスにする」(18 件) と合わせると、約 4 割がデマンド型の導入について望ましいと回答した。



8) 平成 25 年 7 月の路線変更による利用状況の変化

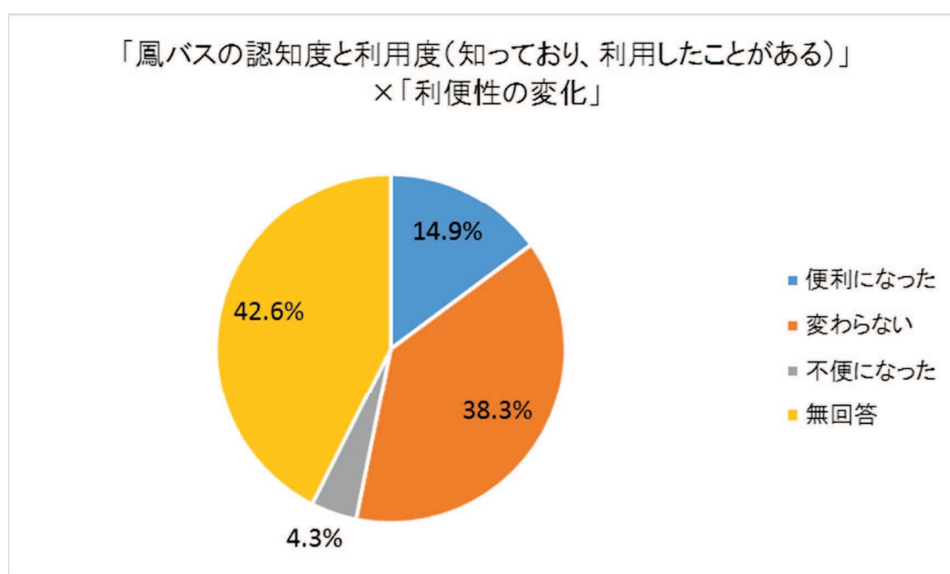
① 利便性の変化

- 平成 25 年の路線変更による利便性の変化は、「変わらない」(構成比 38.0%) が「便利になった」(同 6.4%) と「不便になった」(同 0.9%) を大きく上回った。



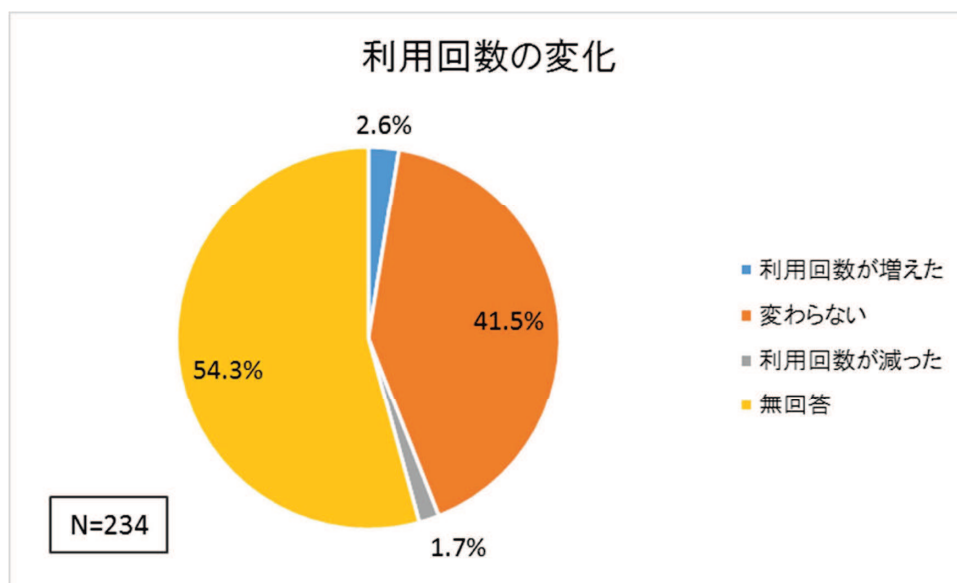
«クロス» 「鳳バスの認知度と利用度(知っている、利用したことがある)」×「利便性の変化」

- 鳳バスを「利用したことがある」方の利便性の変化では、全体の結果よりも「便利になった」という回答の割合が高くなった。



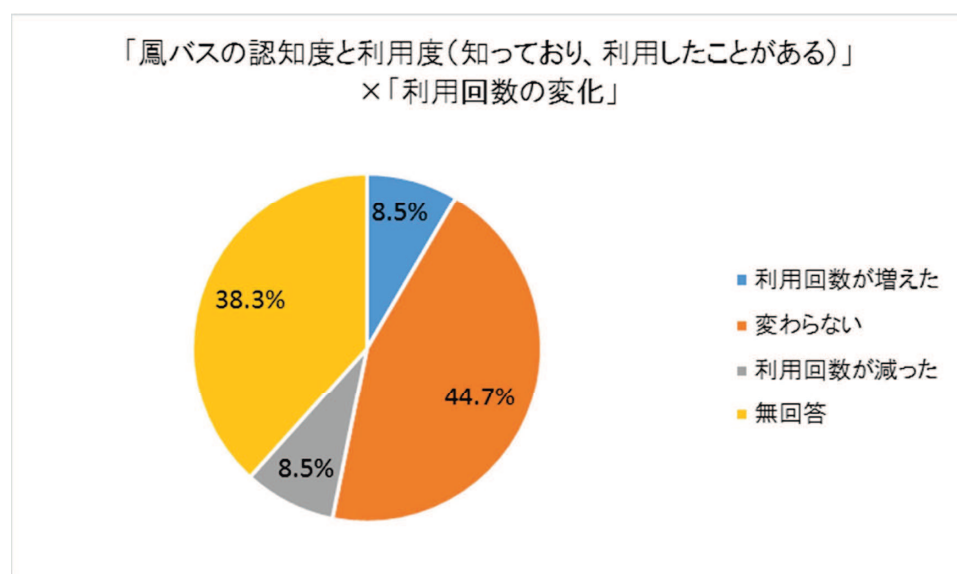
②利用回数の変化

- 利便性の変化と同様、「変わらない」（構成比 41.5%）が多く、利用回数が「減った」（同 比 1.7%）や「増えた」（同 比 2.6%）を大きく上回った。



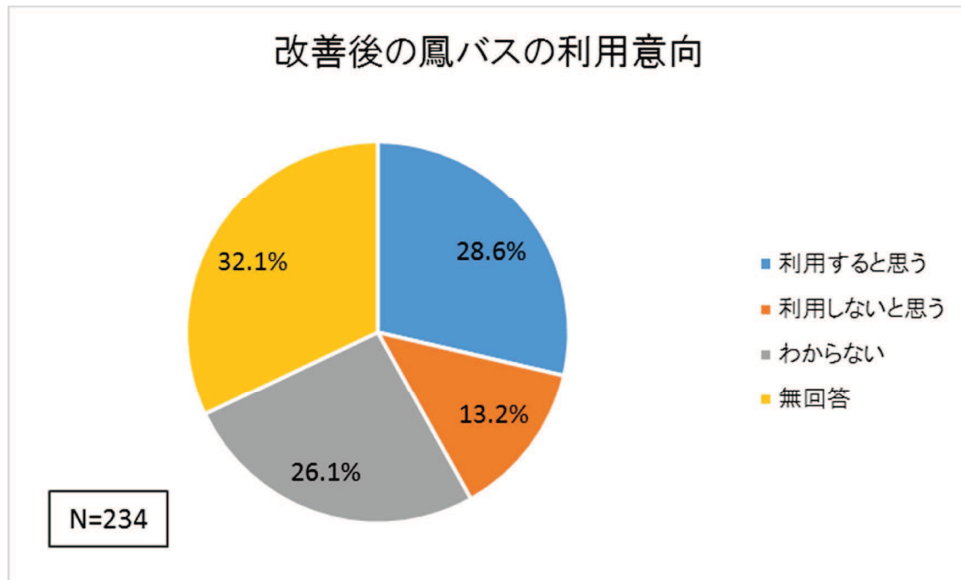
«クロス» 「鳳バスの認知度と利用度(知っており、利用したことがある)」×「利用回数の変化」

- 鳳バスを「利用したことがある」方の利用回数の変化では、「増えた」と「減った」が同率 となった。ともに全体の結果よりも構成比が増えており、実際の利用者では、利用回数が 変化した方もいると考えられる。



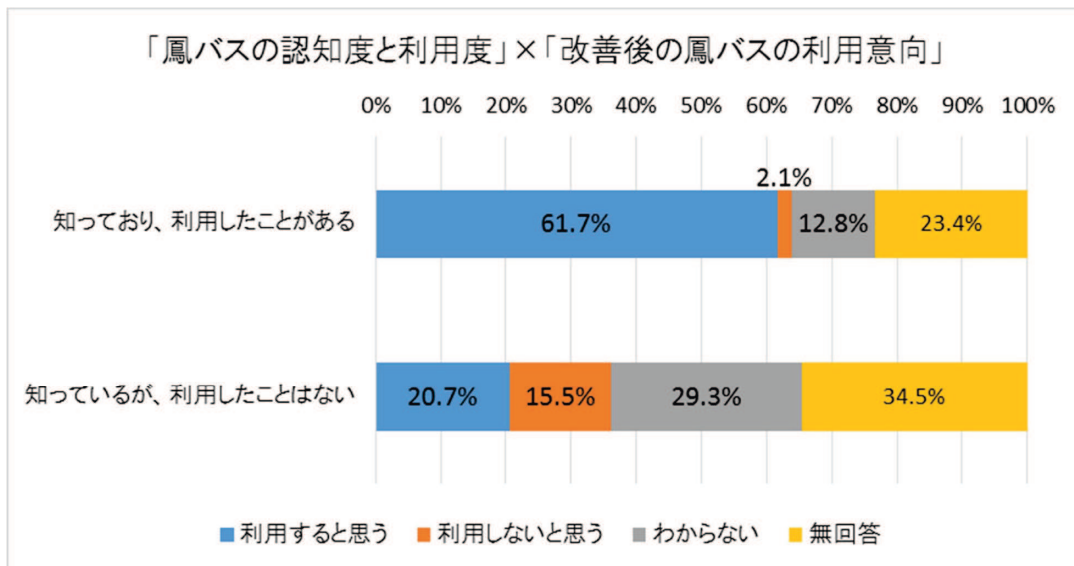
③改善後の鳳バスの利用意向

- 改善後の利用意向については、「利用すると思う」との回答が3割近くに達した。



«クロス» 「鳳バスの認知度と利用度」×「改善後の鳳バスの利用意向」

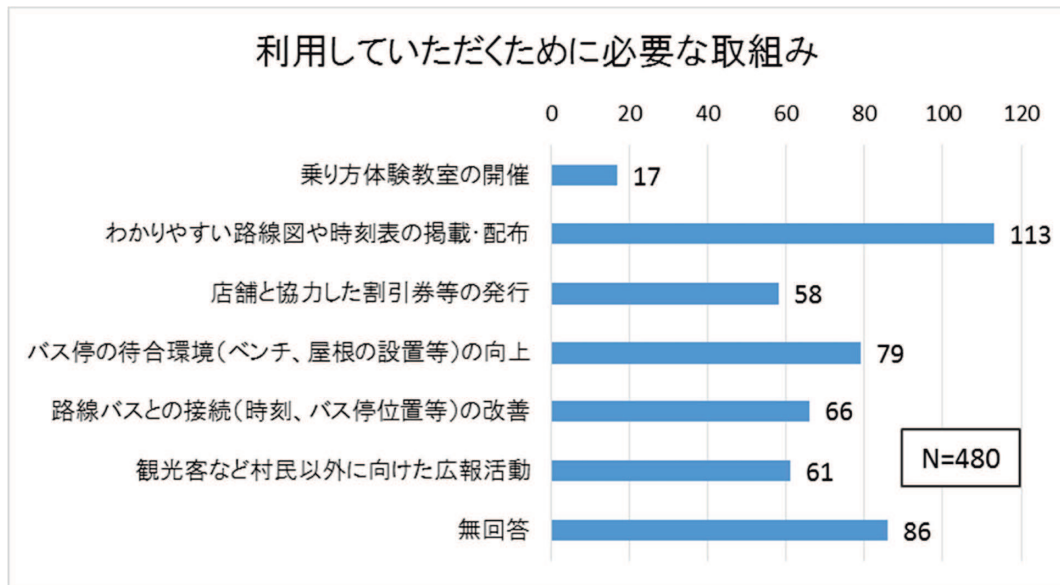
- 鳳バスを「利用したことがある」方の利用意向は、6割程度となった。
- 「利用したことはない」方の利用意向は、2割程度であったが、明確に「利用しないと思う」と回答したのは15.5%にとどまった。



※「知らない、利用したことがない」方については、母数が少ない(5件)ため集計を掲載しない。

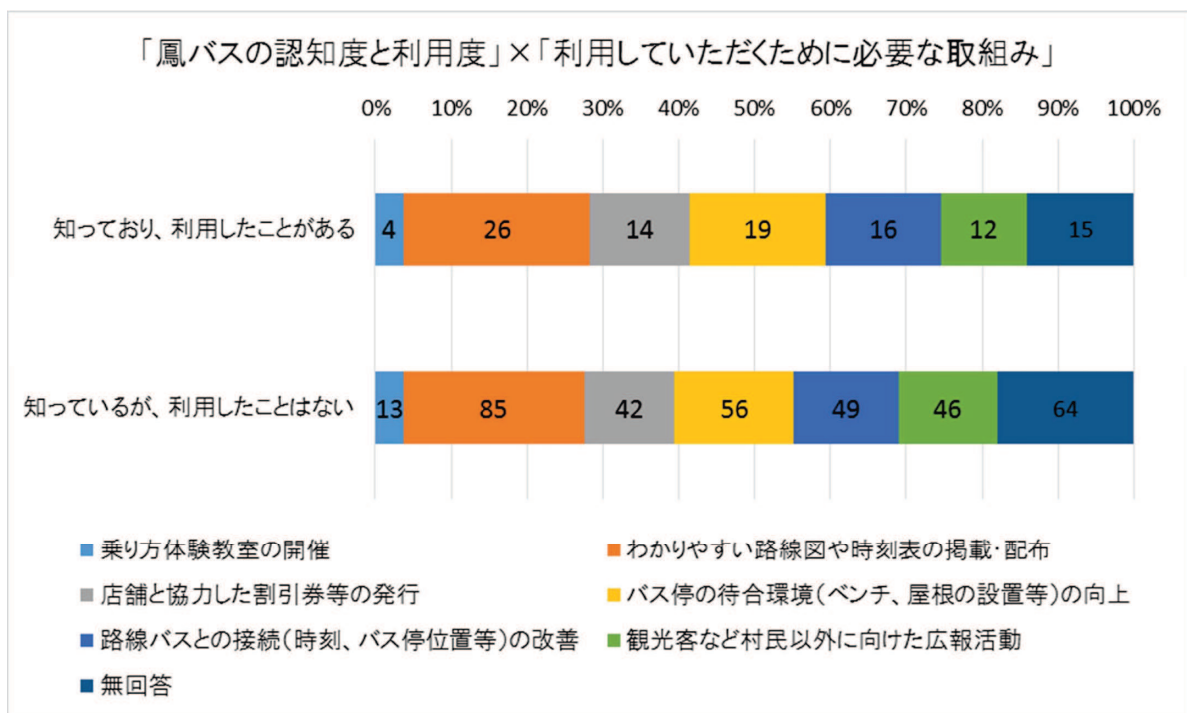
9) 利用していただくために必要な取組み〔複数選択〕

- 必要な取組みとしては、「わかりやすい路線図や時刻表の掲載・配布」が113件と最も多く、続いて「バス停の待合環境の向上」が79件、「路線バスとの接続の改善」が66件の順となった。
- 選択肢の中で特に回答数が少なかったのが「乗り方体験教室の開催」だった。



«クロス» 「鳳バスの認知度と利用度」×「利用していただくために必要な取組み」

- 鳳バスを「利用したことがある」方と「利用したことはない」方で、必要と感じる取組みに大きな差はみられなかった。



※「知らない、利用したことがない」方については、母数が少ない(5件)ため集計を掲載しない。

10) 記述回答の整理

- ・調査票において、「鳳バスの運行についてその他の重視すべき改善点」、「その他より多くの方に利用していただくための取組み」、「路線バスなども含めた公共交通に対するご意見・ご要望」についての記述欄を設けた。記述回答の内容を以下に整理する。

【利用ターゲット】
<ul style="list-style-type: none">○通学に特化し、利便性を高めてほしい。<ul style="list-style-type: none">→読谷高校の通学→長浜からは通学で使えない（8時半着）→通学時の頻度→嘉手納高校への利便性確保→運賃負担の軽減○観光地にも停車してほしい。<ul style="list-style-type: none">→ガイド付きバス→食事券付き1日フリーパス→土休日の村内一周便→観光マップへの明記○高齢者向けルートを検討してほしい。<ul style="list-style-type: none">→通勤、デイケアなど→高齢者を無料に
【ルートの見直し】
<ul style="list-style-type: none">○ルートがわかりにくい。○平日にも北ルートからイオンタウン読谷へ行きたい。○土休日も平日と同様に運行してほしい。○イオンタウン読谷から空港への直行バスがほしい。○役場起点よりも村内一周がよい。○近くにバス停がなく、行きたい場所を経由していない。○細い道でのバスの運行は危険である。○迂回しており、時間がかかりすぎている。
【運行】
<ul style="list-style-type: none">○運行本数が少ない。○18時以降は客がない○終発の時間をもっと遅くしてほしい。<ul style="list-style-type: none">→飲酒運転にも対応○イベント時に臨時増発してほしい。○鳳バスの運転手のマナーが良くない時がある。○乗客が少ないので廃止する。

【乗車券等】

- スタンプ制で割引等があるとよい。
- フリー乗車券をもっと多様に作成してほしい。
- 高校生の通学時は 100 円で利用できるとよい。
- わからず乗ったら乗り継ぎが必要で料金も余分にかかってしまった。

【車両の有効活用】

- 貸切バスについても検討してほしい。
- ピンクは読谷村のイメージでよい。
- 車両デザイン的に男子高校生が乗りづらい。

【広報活動】

- 鳳バスのことをよく知らない住民も多いと思うので広報を行ってほしい。
 - 住民へ路線図・時刻表・料金表を配布
- 村内各所にバスのパンフレットを設置してほしい。
- 公民館やバス停に路線図を設置してほしい。
- バスの収支報告を広報に掲載してほしい。
- スマホアプリの活用を図ってほしい。
- まず、役場職員が利用する。

【公共交通全体】

- 58号沿いにバスターミナルを設置し、パークアンドライドを実現させる。
- バスは頻繁に遅れがある。
- 喜名線を鳳バスでカバーしてほしい。
- デマンド型タクシーを導入してほしい。
- 電車がほしい。
- 鳳バスよりタクシー割引券の方がよい。
 - 元々のタクシー補助に戻す